

# この商品って違いはなに??

ならコープ  
品質保証室

## これいいよ! ~ ラップの巻 ~



「ラップ」ってたくさん種類があって迷っちゃう〜。。



それぞれどんな特徴があるのかな?

組合員の声から、今回は『ラップ』をテーマに、品質保証室の職員で調べてみました。どんな違いがあるのでしょうか。その特徴は??? あくまで品質保証室内での感想です。

### CO-OP 電子レンジにも強いラップ

人気商品

### CO-OP ポリエチレンラップ

レンジ  
に強い!

食品保存  
に最適!

[長さ: 50m タイプ]

小鉢用  
(幅: 15 cm)

ミニ  
(幅: 22 cm)

レギュラー  
(幅: 30 cm)



食品保存  
に最適!

[長さ: 40m タイプ]

ミニ  
(幅: 22 cm)

レギュラー  
(幅: 30 cm)



CFP

(カーボンフットプリント)  
認証

★引き出し始めが簡単な「ラップを丸めたカール加工」

組合員さんの声から進化しています!



CFP (カーボンフットプリント) って、何のこと?



カーボンフットプリント (CFP: Carbon Footprint of Products の略) とは。。

⇒ 直訳すると「炭素の足跡」です。

商品の原材料の調達・製造から廃棄・リサイクルまでのすべての過程で排出される温室効果ガスの量を CO<sub>2</sub> (二酸化炭素) の量に換算表示したものです。

カーボンフットプリントを算定することで、何からどのくらいの CO<sub>2</sub> (二酸化炭素) が排出されているかが分かり、事業者や消費者が CO<sub>2</sub> (二酸化炭素) を削減するためのヒントが得られます 🧐



ものを作ったり運んだり、使ったりするときに出る CO<sub>2</sub> の量を見える化したものなんだね!

CO<sub>2</sub> が増えると空気中の熱も増えて、地球全体の気温が高くなってしまいうから、どれだけ CO<sub>2</sub> が排出されたのかを知ること、みんなに環境について意識してもらえるといいな 🎵



ならコープで取扱いのある商品 (2019年4月現在)

	電子レンジにも強いラップ	ポリエチレンラップ	NEWポリラップ
(商品の一例)			
主材	ポリメチルペンテン	ポリエチレン	ポリエチレン
耐冷熱温度	約-30~180℃	約-60~110℃	約-70~110℃
刃	植物性プラスチック刃	紙刃	プラスチック刃
商品情報	電子レンジ使用でも安心の耐熱180℃。引き出し始めが簡単な「ラップを丸めたカール加工」。植物由来のプラスチック刃を使用しています。180℃の高温でも溶け破れしにくいラップ。 《添加物》 ポリブテン-1 (ポリオレフィン)	酸素透過性の高い、食品保存に適したラップ。野菜・果物のみずみずしさを保つのに適しています。	燃やしても塩素系ガスやダイオキシンが発生しないポリエチレン使用。食品保存用におすすめ。
特徴	耐熱老化性にすぐれていますが、耐寒性に劣る。	酸素を通しやすい。(呼吸している野菜や果物の保存に適している)	
特に向いている用途	高温で扱うもの	一部の野菜・果物	

	NEWクレラップ	サランラップ	日立ラップ
(商品の一例)			
主材	ポリ塩化ビニリデン	ポリ塩化ビニリデン	塩化ビニル樹脂
耐冷熱温度	約-60~140℃	約-60~140℃	約-60~130℃
刃	プラスチック刃	金刃	金刃
商品情報	電子レンジ加熱から冷凍保存まで使える。自然に優しい植物性のプラスチック刃採用。切りやすく、くっつきやすい。真ん中から切れます。 食品の酸化・乾燥を抑える効果があります。	電子レンジ加熱から冷凍保存まで使える。刃をM字型にすることで、軽い力で切りやすい。	スッと切れてピッタリつつむ。
特徴	においや湿気、酸素を通しにくい。食材の酸化劣化の抑制や乾燥を防止し、みずみずしさを保つのに有効。		収縮性が強く、器にくっつきやすい。
特に向いている用途	臭いの強いもの		液漏れしやすいもの

CO-OP 電子レンジにも強いラップ



「CO・OP 電子レンジにも強いラップ」って耐熱温度が 180℃もあるのね！  
だから、電子レンジで加熱しても縮みにくいのね♪



メーカー：リケンファブロ（株）

素材研究により熱に強いラップを開発

『電子レンジで加熱しても縮まないラップ』というコンセプトで開発した「CO・OP 電子レンジにも強いラップ」は、発売してから 20 年以上が経ちました。発売当時、市販品の多くが耐熱温度 110℃～140℃の中、「CO・OP 電子レンジにも強いラップ」は、なんと、耐熱温度 180℃と圧倒的に熱に強いラップとして登場しました。

その秘密は、主成分であるポリメチルペンテンにあり、とても熱に強い素材です。これは水素と炭素から構成されるプラスチック素材で、医療機器の原料としても使われています。しかし、最初のころは、この熱に強く固い樹脂から柔らかいラップを作るのが難しく、引き出しにくくて使いにくいなどの声が挙がり、試行錯誤を繰り返しながら、使い勝手の良さも追及してきました。

CO・OP 電子レンジにも強いラップは、下の工程で製造します。

- ①粒子状のポリメチルペンテン樹脂を高温条件で混練して水あめ状にする。
- ②それを専用の機械でフィルム状に薄く伸ばし、冷却。約 5,000mの原反（巻物）が完成。
- ③原反を 50mや 20mに巻き直して、小巻ラップを作る。
- ④検品後、刃のついた化粧箱に詰める。
- ⑤重量チェック後、段ボール詰めを経て出荷。

組合員の声を聞きながら改良を進める

2016 年 10 月には、組合員の意見を取り入れて改良し、さらに使いやすくなりました。主な改良点は次の 3 つです。

①箱のサイズを約 3 mm小型化し、持ちやすくなりました。



箱が小さく握りやすくなったから、カットしやすくなった～！それに、重みを感じにくくなったわ。

②金属刃から植物性プラスチックの切り刃に変更。

（※20mタイプは、使ってそのまま捨てられる従来の紙刃のまま。）



捨てる時、取り外ししやすくなったわ～。しかも、金属刃と同じようによく切れる！

③フィルムの引き出し部分を「カール加工」に変更。

（※小鉢用は製造ラインが異なるため、カール加工はしていません）。〔従来の紙テープつきのまま〕



以前はフィルムの引き出し部分に紙テープが巻かれていて、紙テープがゴミになったし、紙テープだけ外れてしまってラップがはがせなくなることもあったけど、引き出し始めの部分が丸めてあって、引き出しやすくなったわね。

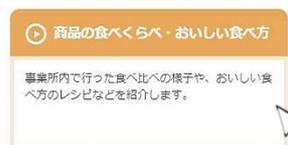
(CO・OP navi 2016.12月号参照)

★バックナンバーは。。

『ならこーぷホームページ』



ならっぴ探検隊



商品の食べくらべ・おいしい食べ方

をクリック！

